2026年度　中間期決算
通期業績予想

2026年11月2日

日本軽金属ホールディングス株式会社
Nippon Light Metal Holdings Co., Ltd.

東証プライム市場　5703

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度 中間期決算、通期業績予想 サマリー

- **中間期決算　経常利益202億円**(前年同期比＋107%)
- **通期業績予想　経常利益　通期350億円**（8/3予想310億円より上方修正　）
- 本日、自己株式の取得を決定（機動的で柔軟な資本政策の推進を目的）

1.　中間期決算

- 販売面 ：二次合金の事業環境良好、半導体製造装置向け厚板需要回復で増販、化成品および箔、粉末製品の放熱向けとLIB向け板材は高水準継続、アルミ市況の1Qでの上昇影響もあり増収
- 採算面 ：上記アルミナ・化成品、地金と板、押出製品、箔、粉末製品の増販、アルミ市況は2Qで軟化も1Q上昇影響大きく、増益（上期営業利益・経常利益・当期利益 8/3公表比20%前後の増益で着地）

2.　通期業績予想

- アルミ市況の軟化・落ち着きもあり、下期業績予想＜上期実績
- 下期販売面は二次合金・半導体関連・ LIB向け板材の高水準継続、トラック架装は上期から挽回
- 原材料価格上昇によるコスト増も、販価改定効果が下期で発現(→増加)
- 持分法適用関連会社の株式一部譲渡で下期に特別利益

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

目次

1. 2026年度 中間期決算

2. 2026年度 通期業績予想

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度中間期決算 – 前年同期比

二次合金の事業環境良好、半導体関連の販売増・放熱用途の需要好調継続に加え、1Qで大きく発現のアルミ市況価格上昇による差益影響もあり、大きく増益。

（億円）

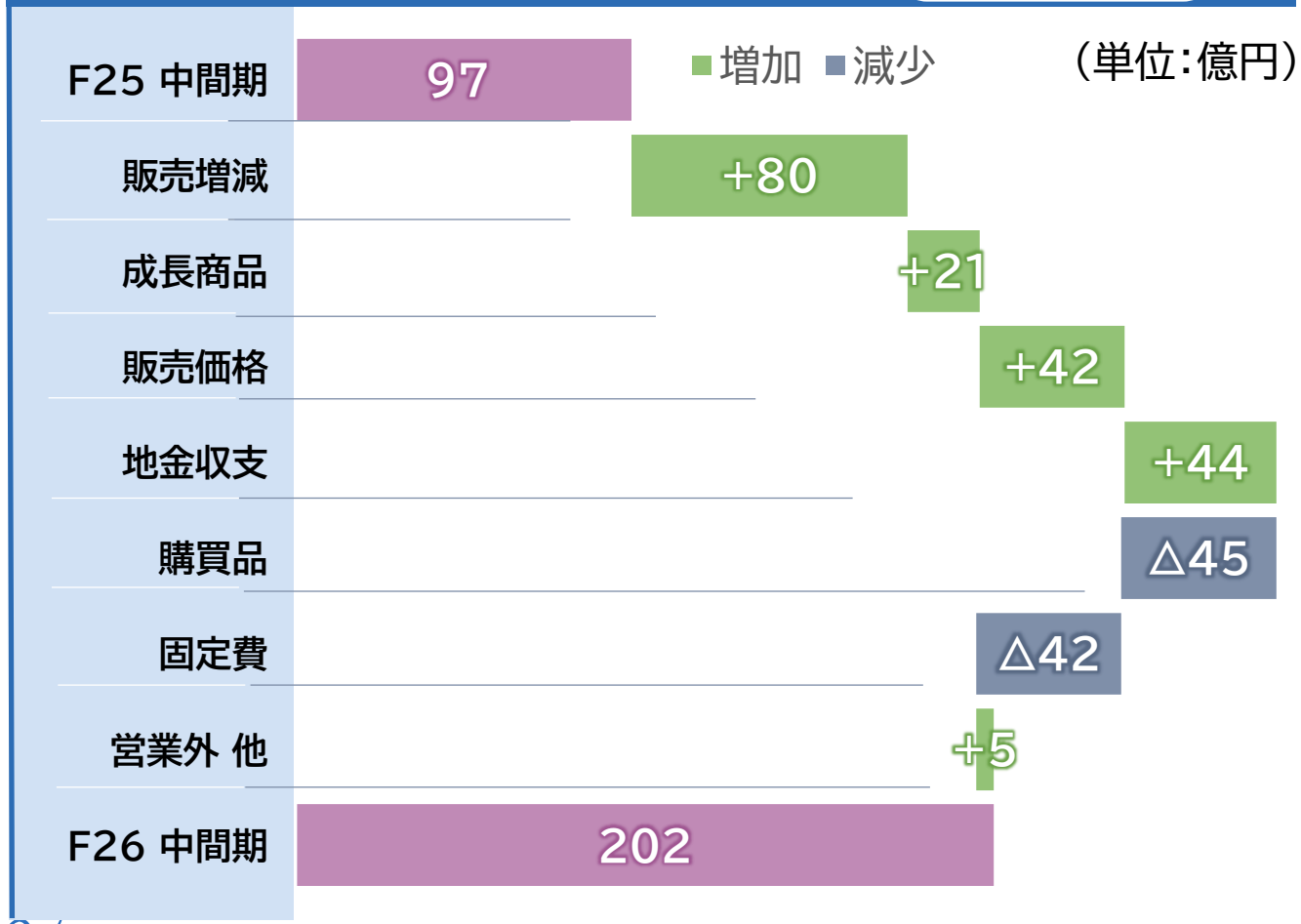
	25年度中間期 実績	26年度中間期 8/3予想	26年度中間期 実績	増減 前年同期比
売上高	2,787	3,500	3,378	+591 (+21.2%)
営業利益	116	170	214	+98 (+83. 5%)
経常利益	97	160	202	+105 (+107.0%)
親会社株主に帰属する中間純利益	55	100	115	+60 (+110.8%)
1株当たり中間配当金	25円	50円	50円	+25円

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

経常利益変化要因 － 前年同期比

箔、粉末（放熱用途）、板（半導体製造装置向け厚板等）の増販、販価改定効果に加え、アルミ地金価格上昇による差益・二次合金相場環境影響（販売数量影響の内数）が利益を押し上げ

F25/4-9実績 ➡ F26/4-9実績　＋105億円



主な要因・影響事業G
【＋】メタル（二次合金）・箔・軽圧（板）
【＋】箔・軽圧（板）・自動車部品
【＋】箔・輸送機器・軽圧（押出）・化成品
【＋】メタル（調達）、軽圧（板・押出）
【△】アルミ地金（輸送機器）、諸資材
【△】労務費
【＋】為替、【△】金利

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　中間期決算
財政状態

アルミ地金価格上昇影響により棚卸資産、借入金が増加

（億円）

	25年度 期末実績	26年度 中間期実績	増減
現金及び預金	331	468	+137
受取手形、売掛金及び契約資産	1,538	1,466	△72
棚卸資産	1,102	1,286	+184
その他の流動資産	157	166	+9
有形固定資産	1,798	1,804	+6
その他の固定資産	637	644	+7
資産合計	5,563	5,834	+271

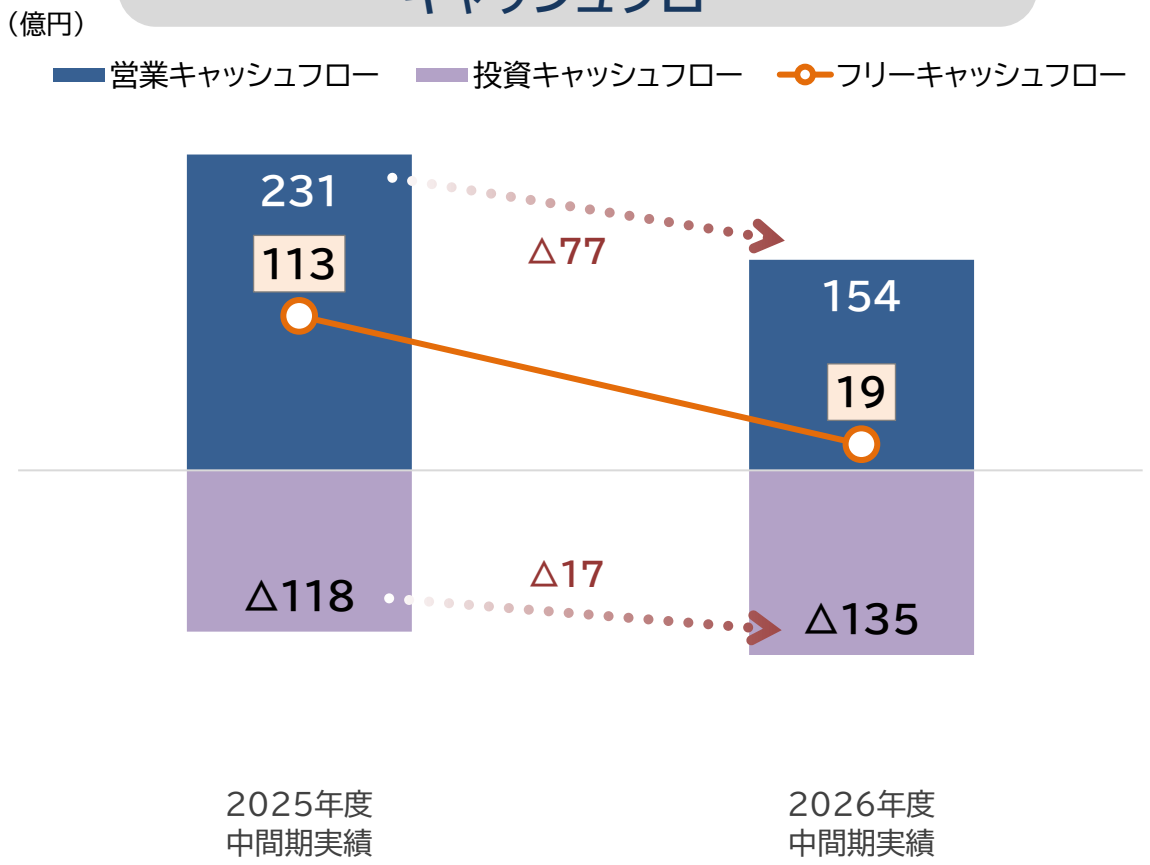
	25年度 期末実績	26年度 中間期実績	増減
支払手形及び買掛金	599	621	+22
社債及び借入金	1,660	1,815	+155
その他の負債	625	615	△10
負債合計	2,884	3,051	+167
株主資本	2,247	2,330	+83
その他の包括利益累計額	240	251	+11
非支配株主持分	192	202	+10
純資産合計	2,679	2,783	+104
負債及び純資産合計	5,563	5,834	+271

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

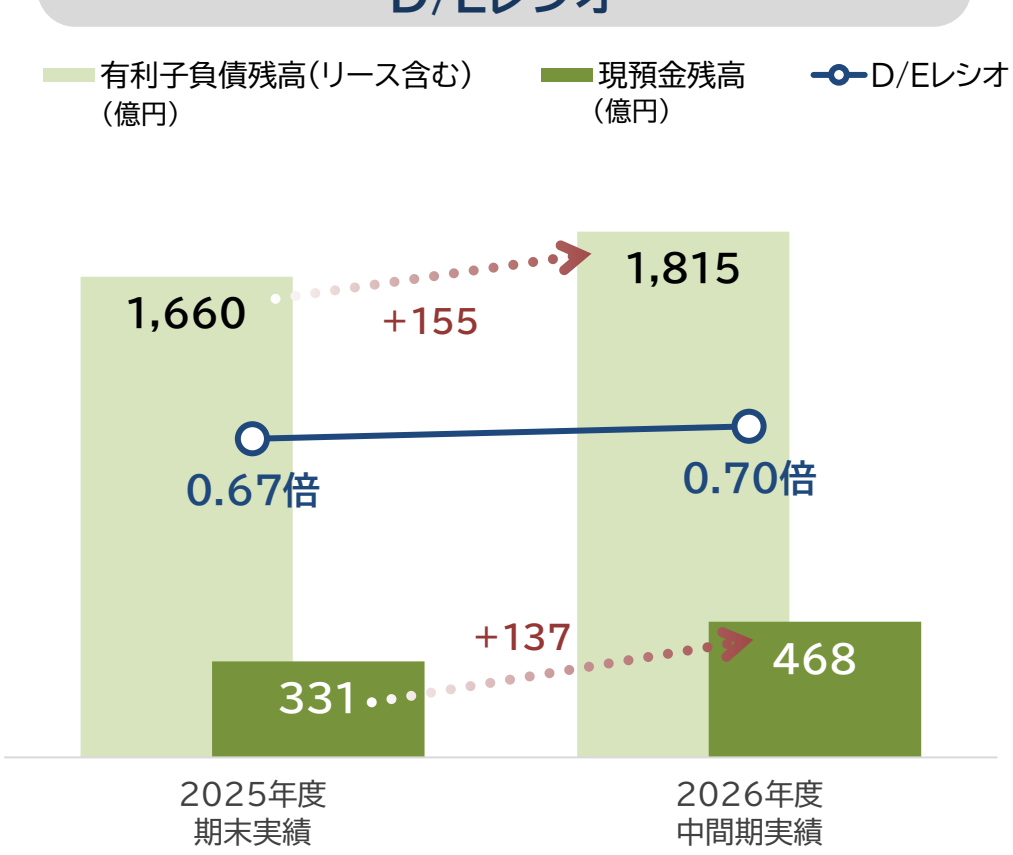
キャッシュフロー状況

・営業キャッシュフローはアルミ地金価格上昇による運転資金増加によって減少、投資キャッシュフローは固定資産の取得による支出が前年を上回り増加 ⇒ フリーキャッシュフロー94億円減少
・有利子負債残高は短期借入金の増加等によって増加、D/Eレシオは、0.70倍程度

キャッシュフロー



D/Eレシオ



Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　中間期決算

セグメント情報 － 前年同期比

- アルミナ・化成品、地金：化成品は半導体関連、二次合金は国内外とも環境良好
- 板、押出製品：半導体製造装置向け厚板増販、LIB向けケース材需要高水準維持

（億円）

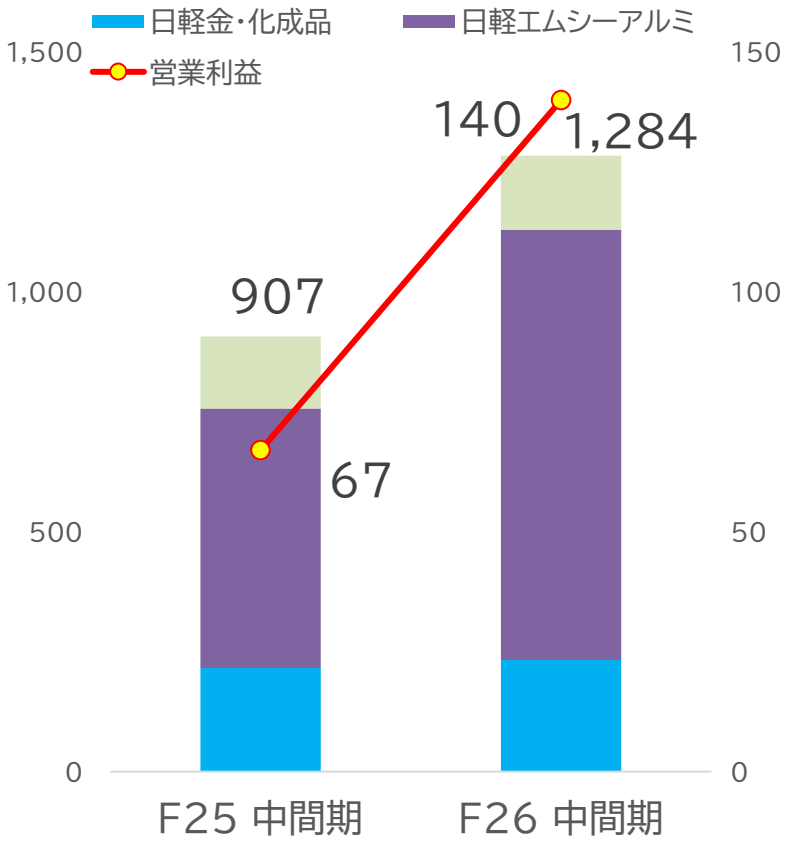
	中間期売上高				中間期営業利益			
	25年度 実績	26年度 8/3予想	26年度 実績	増減 前年同期比	25年度 実績	26年度 8/3予想	26年度 実績	増減 前年同期比
アルミナ・化成品、地金	907	1,330	1,284	+377 (+41.6%)	67	120	140	+73 (+108.5%)
板、押出製品	510	690	620	+110 (+21.5%)	14	30	41	+27 (+190.8%)
加工製品、関連事業	814	850	841	+27 (+3.3%)	14	0	△4	△18 (—)
箔、粉末製品	556	630	633	+77 (+14.0%)	37	40	53	+16 (+43.1%)
管理・共通	—	—	—	–	△16	△20	△16	±0
合計	2,787	3,500	3,378	+591 (+21.2%)	116	170	214	+98 (+83.5%)

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

アルミナ・化成品、地金

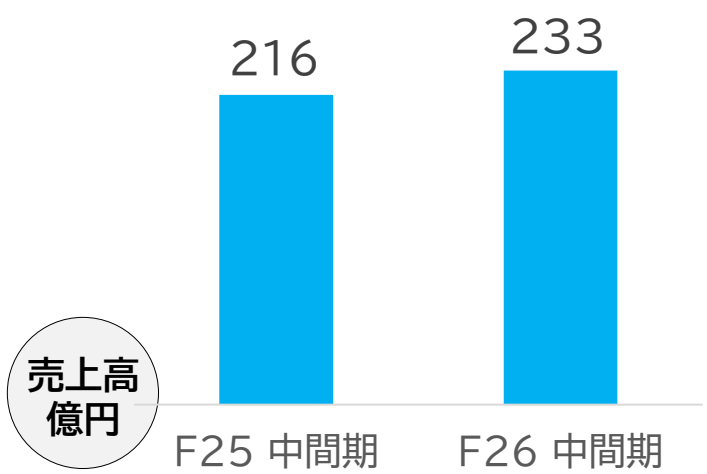
- 化成品 ：半導体製造装置向け販売増継続、販価改定効果もあり増益
- メタル ：二次合金が国内・海外総じて事業環境良好、加えてアルミ市況上昇影響で増益に

売上高（億円）　　**営業利益（億円）**



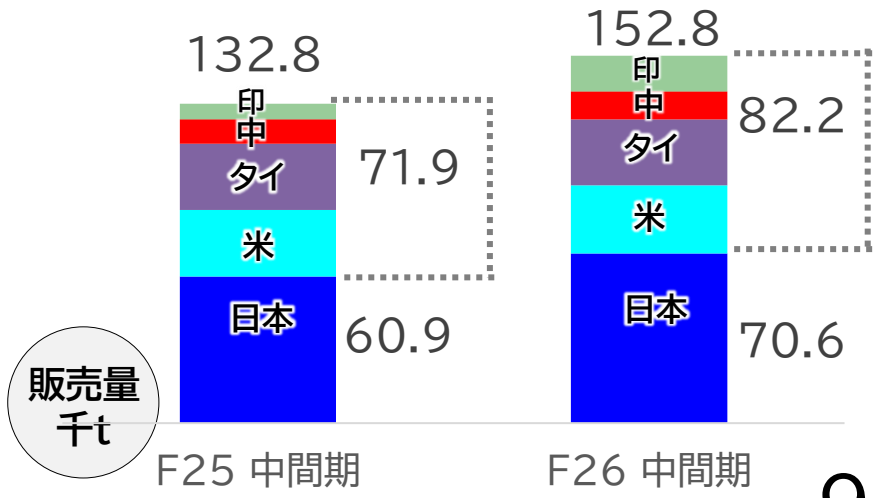
化成品事業グループ
化成品部門（日軽金・化成品）

- 水酸化アルミニウム・アルミナは耐火向け等弱含みも、半導体製造装置向けが増販、化学品は無機塩化物が前年同期比増販により増収
- 原材料コスト上昇も販価改定効果で増益



メタル事業グループ
二次合金部門（日軽エムシーアルミ）

- 日本　自動車関連の販売増、中東情勢での代替需要に加え、販価転嫁・相場影響もあり増益
- 海外　米国は実需・相場環境良好で好調、タイは販売堅調・販価転嫁で増益、中国は低調も高付加価値品販売で利益確保、インドは中東情勢影響でフル操業となり利益伸長

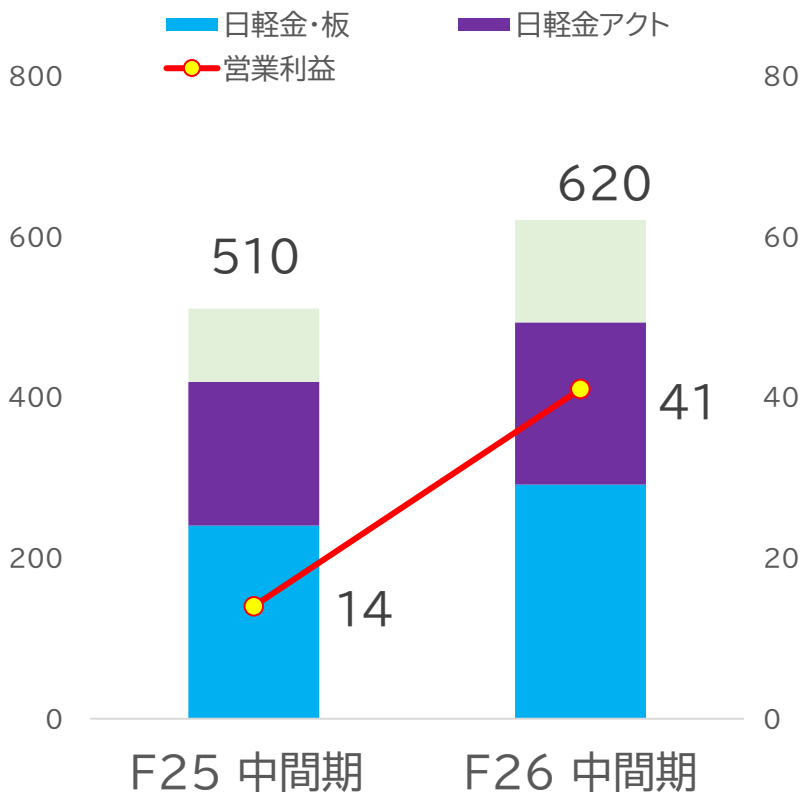


Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

板、押出製品

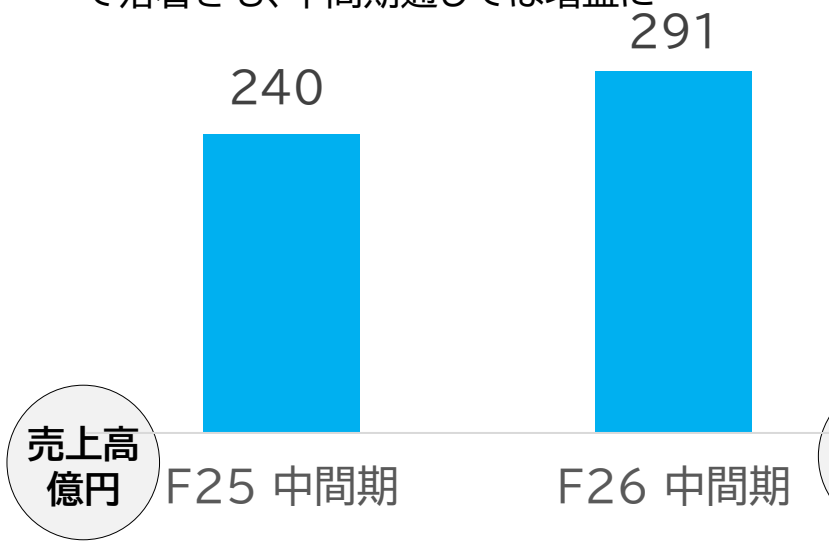
板は半導体製造装置向け厚板が需要回復で増販、LIB向けケース材は好調維持。押出はトラック架装向け販売堅調で増販。アルミ市況反映の販価上昇影響もあり増収・増益

売上高（億円）　　**営業利益（億円）**



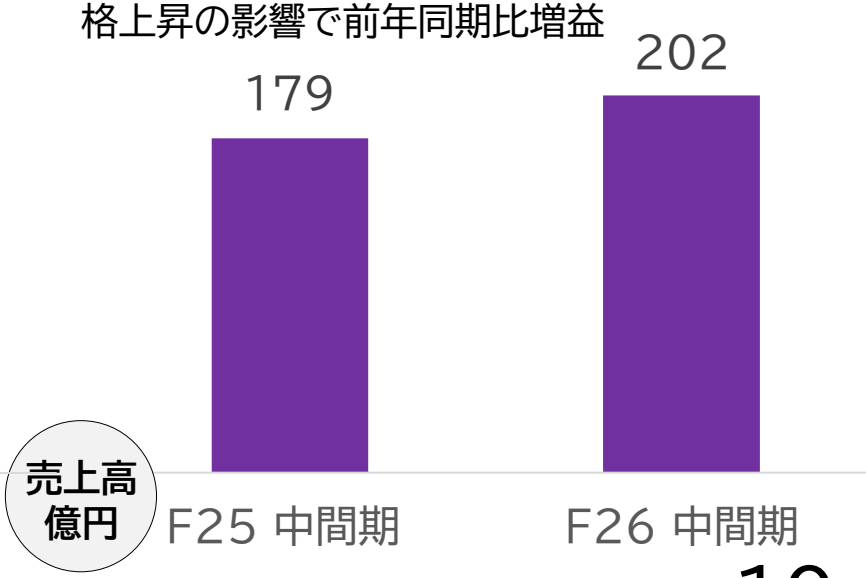
軽圧事業グループ 板部門（日軽金・板）

- 半導体製造装置向け厚板の需要回復による増販、リチウムイオン電池ケース向け好調維持で増収
- アルミ市況反映の販売価格上昇影響は2Qで落着きも、中間期通じては増益に



軽圧事業グループ 押出部門（日軽金アクト）

- トラック架装向けは市場環境良好による販売堅調、加えてアルミ地金価格上昇影響で増収
- 上記販売面およびアルミ市況反映の販売価格上昇の影響で前年同期比増益

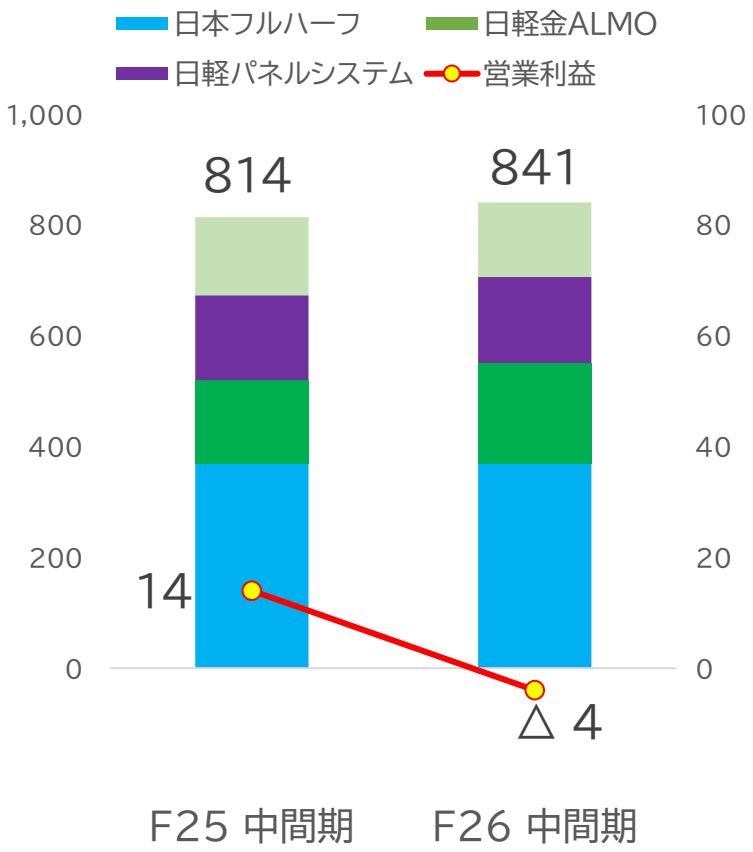


Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

加工製品、関連事業

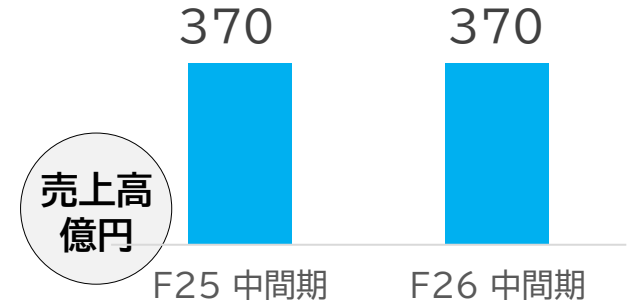
自動車部品は新商品増・販価適正化で改善も、輸送機器（トラック架装）は中東情勢影響（1Q減産・コスト上昇）で減益、エンジニアリングのパネルシステムはクリーンルーム向け減でセグメント利益は損失に

売上高（億円）　営業利益（億円）



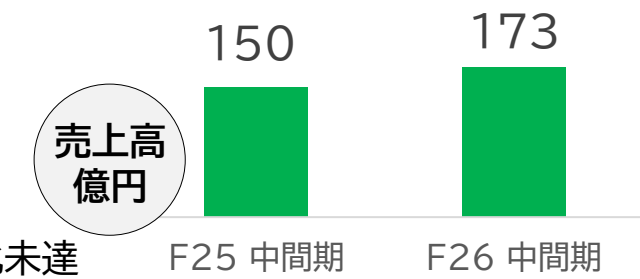
輸送機器事業グループ（日本フルハーフ）

- 受注高水準も中東情勢影響の塗料不足で1Q大きく減産強いられる。2Q挽回生産で前年同期並売上高に
- 上記に加え、品種構成と材料価格上昇の影響で減益



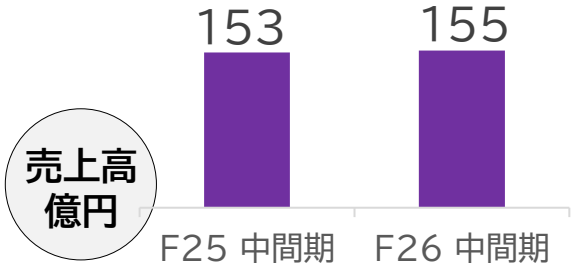
自動車部品事業グループ（日軽金ALMO）

- 日本：新商品増加による増収と品種構成改善に加え、販売価格適正化により前年同期より業績改善
- 海外：経費等のコスト低減に成果も、米中ともに黒字化未達



エンジニアリング事業グループ　パネルシステム部門（日軽パネルシステム）

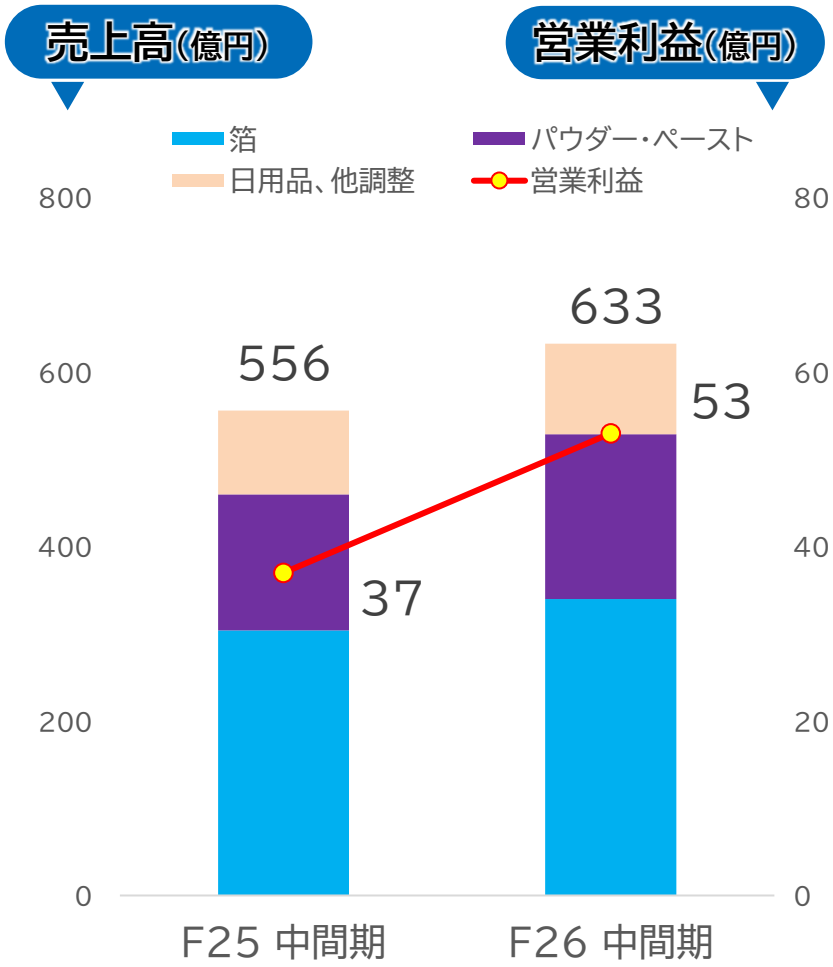
- 冷凍・冷蔵分野：食品工場・冷凍冷蔵倉庫増設や建替え需要の継続で販売増もコスト上昇影響で減益
- クリーンルーム分野：半導体関連の設備投資需要は継続も前期に大規模物件集中の反動減もあり減販・減益



Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

箔、粉末製品

箔はLIB外装用箔が調整局面継続も医薬包材向けが増販に転じ、パウダー・ペーストは放熱用途好調継続に加え自動車塗料向けが国内外の需要増で、増収増益



箔事業グループ(東洋アルミニウム)
箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔はEV需要の調整局面基調は変わらずも、医薬包材向け加工箔は前年度の調整局面から増販に転じたことに加え、アルミ地金価格上昇影響と販売価格改定により、部門全体で増収・増益に

パウダー・ペースト部門

- パウダーは放熱用途の電子材アルミパウダー・窒化アルミの需要好調が継続、ペーストは自動車塗料用が国内向け・海外向けともに需要増加による増収で、前年同期より売上高・利益ともに大きく伸長

日用品部門

- コンシューマー向けはフィルター市場の拡大と販売強化もありハウスケア用品の販売が増加と販価改定により増収、パッケージ用品向けはアルミ容器の販価改定実施で食品メーカーの店頭価格上昇影響で販売量減少も増収となり、部門全体利益は前年同期上回る

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

販売価格改定実施状況

下記で実施の事業グループ・改定内容に限らず、材料費・エネルギー価格高騰や労務費等の変動分の販売価格転嫁の申入れや個別取引における低収益案件の価格是正も実施

セグメント	事業グループ／部門	価格改定対象	開始時期	改定内容
● アルミナ・化成品、地金	化成品事業グループ 日軽金・化成品	• 水酸化アルミニウム、アルミナ	24年 25年 26年	– 10%以上値上げ – 20円/kg～30円/kg値上げ – 10%以上値上げ
● 板、押出製品	軽圧事業グループ 日軽金・板	• 全てのアルミニウム板製品	24年 26年（7月）	– 加工賃（ロールマージン価格）：値上げ – コスト増加分を製品価格に転嫁
	軽圧事業グループ 日軽金アクト	• アルミニウム押出製品全般	25年 26年（8月）	– 加工賃（ロールマージン価格）：値上げ – 個別取引ごとに改定
● 加工製品、関連事業	輸送機器事業グループ 日本フルハーフ	• バンボデー、トレーラ等全製品、部品 • バンボデー、トレーラ等全製品、部品全般	23年・24年 26年4月 （部品は10月）	– 製品、部品各々の改定率で値上げ – 製品：約15%値上げ – 部品：10～20%値上げ
● 箔、粉末製品	箔事業グループ 東洋アルミニウム	• 樹脂・紙原料の家庭用商品 • 箔・加工品、パウダー・ペースト全品種	23年 25年	– 20%以上 – 労務費上昇分＋個別対応で値上げ

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

目次

1. 2026年度 中間期決算

2. 2026年度 通期業績予想

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

業績予想・配当予想 – 前期比

通期予想を上方修正：上期業績上昇（8/3予想比20%前後増益で着地）を反映
下期予想（**下期＜上期**）：**アルミ市況影響は軟化も、販売面好調は継続、**
持分法適用関連会社の株式の一部譲渡（本日11/2公表）による**特別利益を織り込み**

（億円）

	2025年度 実績	2026年度 8/3予想	2026年度 今回11/2予想	増減 前期比
売上高	5,855	6,900	7,000	+1,145 (+19.6%)
営業利益	256	330	370	+114 (+44.4%)
経常利益	236	310	350	+114 (+48.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	156	170	200	+44 (+28.3%)
1株当たり配当金	80円	110円	110円	+30円

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

事業環境前提

■ 市場環境：総じて上期の基調継続を想定

＊F25通期業績との比較。アルミ地金価格変動による影響発現分を含む

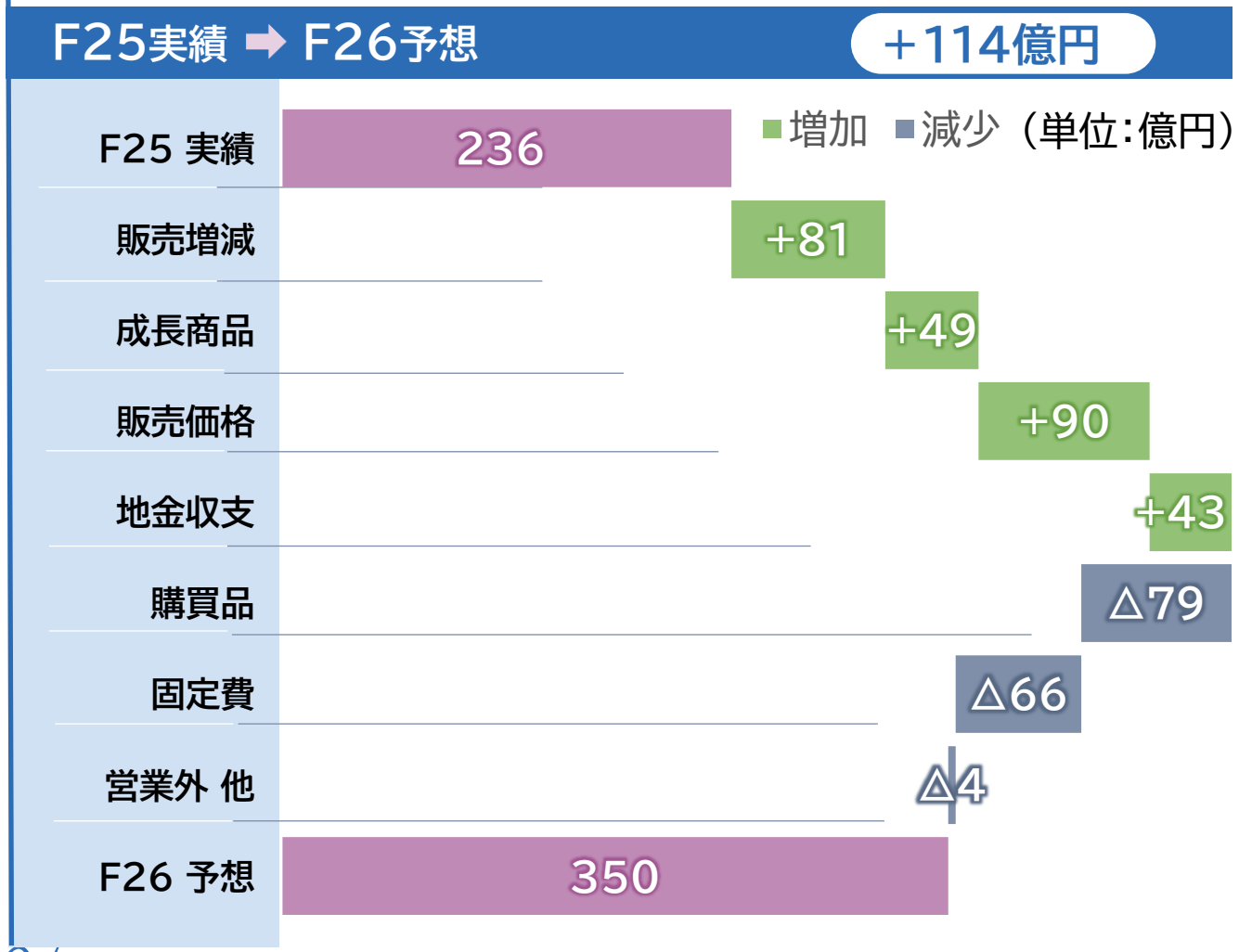
セグメント	事業グループ（主要部門）	業績基調＊	需要環境　下期以降想定〔下期追加要素〕
アルミナ・化成品、地金	化成品（日軽金・化成品）	↗	半導体製造装置向け需要回復で増販
	メタル（日軽エムシーアルミ）	↗	国内・海外の事業環境良好継続で好調基調
板、押出製品	軽圧（日軽金・板）	↗	半導体製造装置向け厚板増販基調、LIB向け板材高位維持
	（日軽金アクト）	→	トラック架装向け堅調
加工製品、関連事業	輸送機器（日本フルハーフ）	→	需要良好継続、上期減販（中東情勢影響）からの挽回
	自動車部品（日軽金ALMO）	↗	国内：新商品増・品種構成良化・販価適正化での業績改善継続 海外：中国低調・米国生産性UPによる改善継続
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ（日軽パネルシステム）	→	冷凍・冷蔵堅調、クリーンルーム弱含み〔→回復後半の見通し〕
箔、粉末製品	箔（東洋アルミニウム）	↗	医薬包材国内・インドとも増収、放熱用途フル稼働継続

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　通期業績予想

経常利益変化要因 － 前期比

アルミ地金価格上昇による差益や二次合金相場環境影響は収束も、販価改定効果の発現増、成長商品（放熱用途等）の拡大基調は継続



主な要因・影響事業G

- 【＋】メタル（二次合金）・箔・軽圧（板）・化成品
- 【＋】箔・軽圧（板）・化成品・自動車部品
- 【＋】箔・輸送機器・化成品・軽圧（押出）
- 【＋】メタル（調達）、軽圧（板・押出）・箔
- 【△】アルミ地金（輸送機器）、諸資材
- 【△】労務費
- 【△】為替・金利

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　通期業績予想

セグメント予想 – 前期比

- アルミナ・化成品、地金 ：二次合金の事業環境良好継続、アルミ地金市況影響は軟化
- 加工製品、関連事業：トラック架装は挽回、断熱パネルの半導体工場向けは回復途上

（億円）

	通期売上高				通期営業利益			
	25年度 実績	26年度 8/3予想	26年度 今回11/2予想	増減 前年同期比	25年度 実績	26年度 8/3予想	26年度 今回11/2予想	増減 前年同期比
ｱﾙﾐﾅ・化成品、地金	1,894	2,370	2,510	+616 (+32.6%)	98	165	190	+92 (+93.9%)
板、押出製品	1,054	1,410	1,330	+276 (+26.1%)	57	75	70	+13 (+20.7%)
加工製品、関連事業	1,777	1,830	1,860	+83 (+4.7%)	60	50	55	△5 (△7.7%)
箔、粉末製品	1,130	1,290	1,300	+170 (+15.0%)	77	80	95	+18 (+24.2%)
管理・共通	–	–	–	–	△36	△40	△40	△4
合計	5,855	6,900	7,000	+1,145 (+19.6%)	256	330	370	+114 (+44.4%)

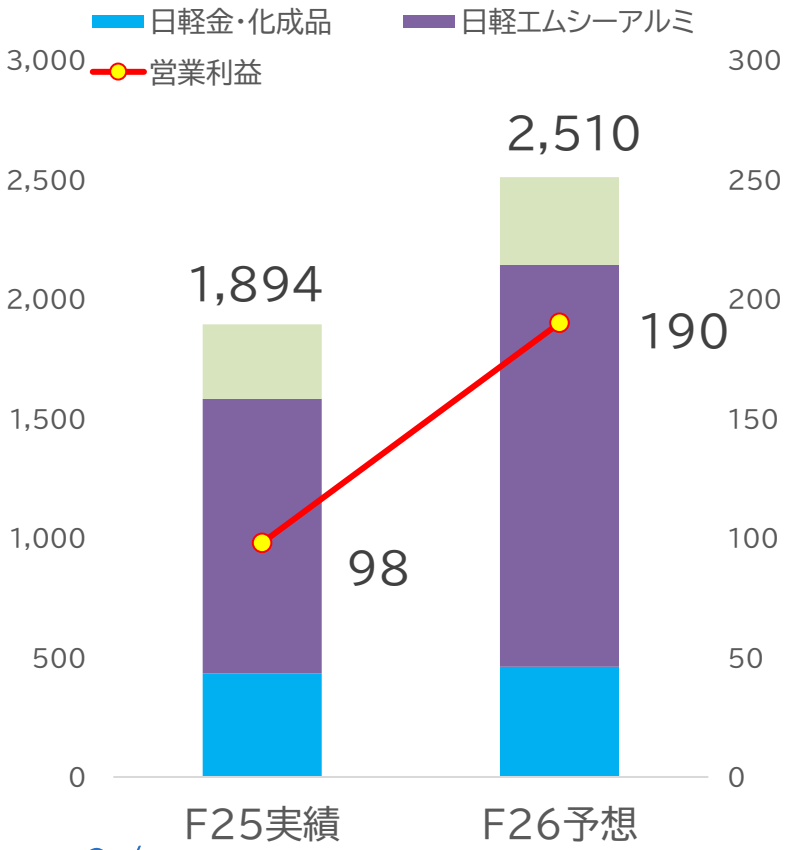
Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　通期業績予想

アルミナ・化成品、地金

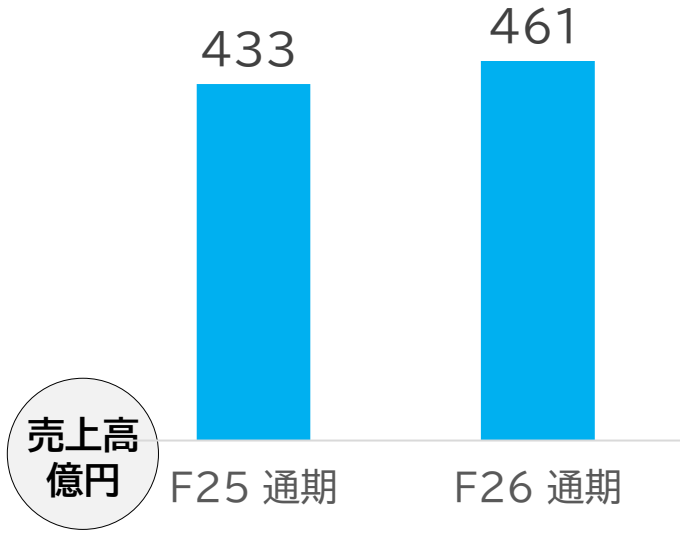
- 化成品 ：半導体製造装置向け増販傾向は継続、販価改定効果も加わり増益
- メタル ： 二次合金は国内・海外とも総じて需要高水準継続、アルミ市況影響は落着き

売上高(億円)　　**営業利益(億円)**



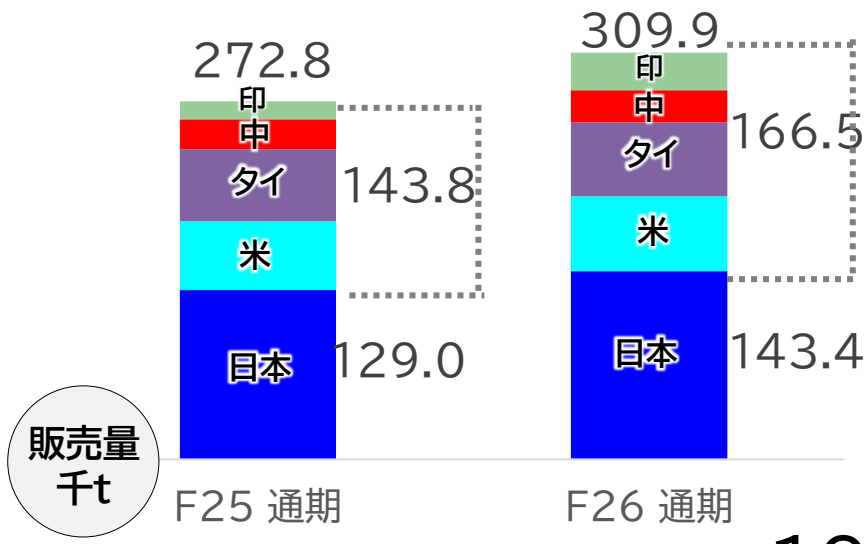
化成品事業グループ
化成品部門(日軽金・化成品)

- 水酸化アルミニウム・アルミナは耐火向け等弱含み続き販売数量減も、半導体製造装置向け増販傾向が継続、化学品も無機塩化物が前期比販売増で、増収
- 販価改定効果の発現の継続もあり、増益



メタル事業グループ
二次合金部門(日軽エムシーアルミ)

- 日本　中東情勢の代替需要緩和も、自動車関連の受注増基調、販価転嫁・相場環境良好は継続
- 海外　米国は実需・相場環境良好継続、タイは堅調、中国は低調継続も利益確保、インドは中東情勢の代替需要の継続受注化で高水準



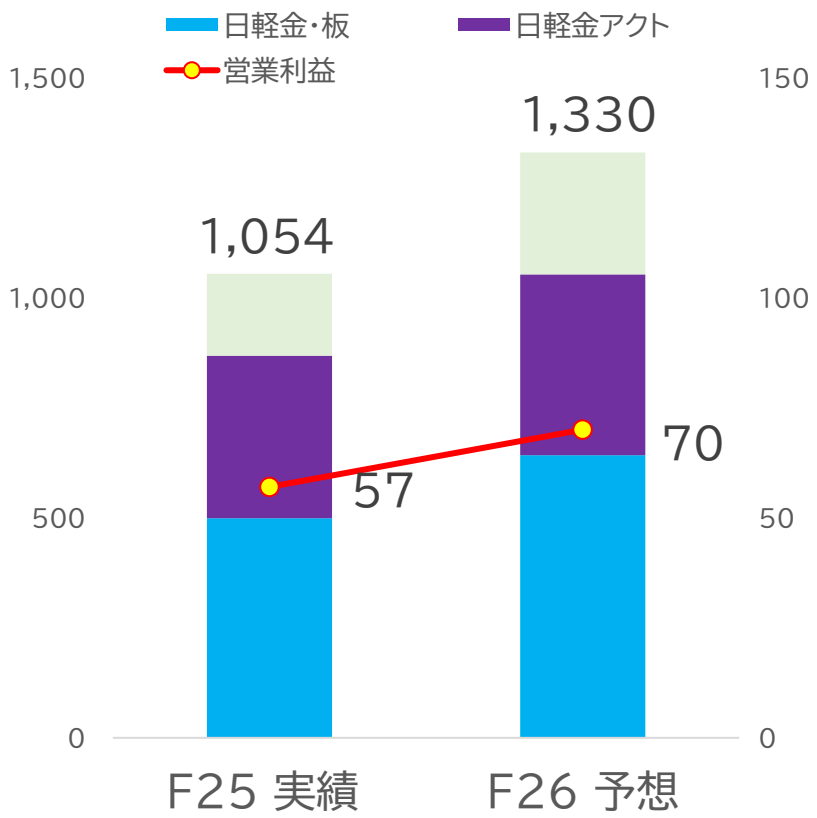
Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　通期業績予想

板、押出製品

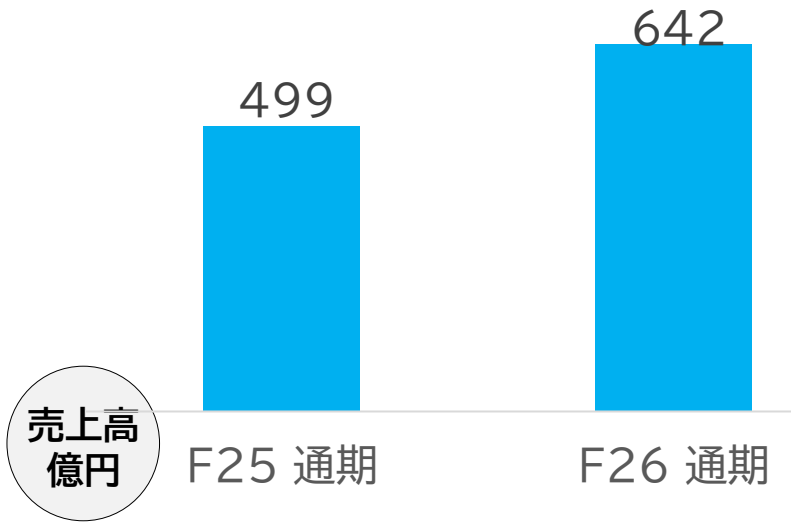
板は半導体製造装置向け厚板の需要増基調、LIB向けケース材の好調が継続。押出はトラック架装向けが市場環境良好で販売堅調維持。アルミ市況反映の販価上昇影響は緩和

売上高(億円)　　**営業利益(億円)**



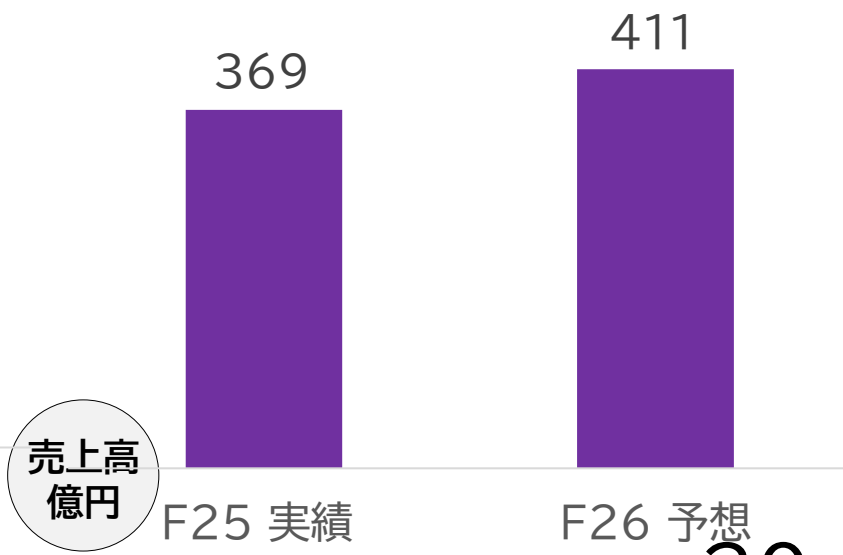
軽圧事業グループ 板部門(日軽金・板)

- 半導体製造装置向け厚板の需要増基調継続、リチウムイオン電池ケース向けの高需要維持で増収基調続く
- アルミ市況反映の販売価格上昇影響は上期内で落着きも、上記増販影響で増益見込み



軽圧事業グループ 押出部門(日軽金アクト)

- トラック架装向けの市場環境は堅調に推移する見込み
- アルミ市況反映の販売価格上昇影響は落着くも販売面影響で前年同期比増益見込み

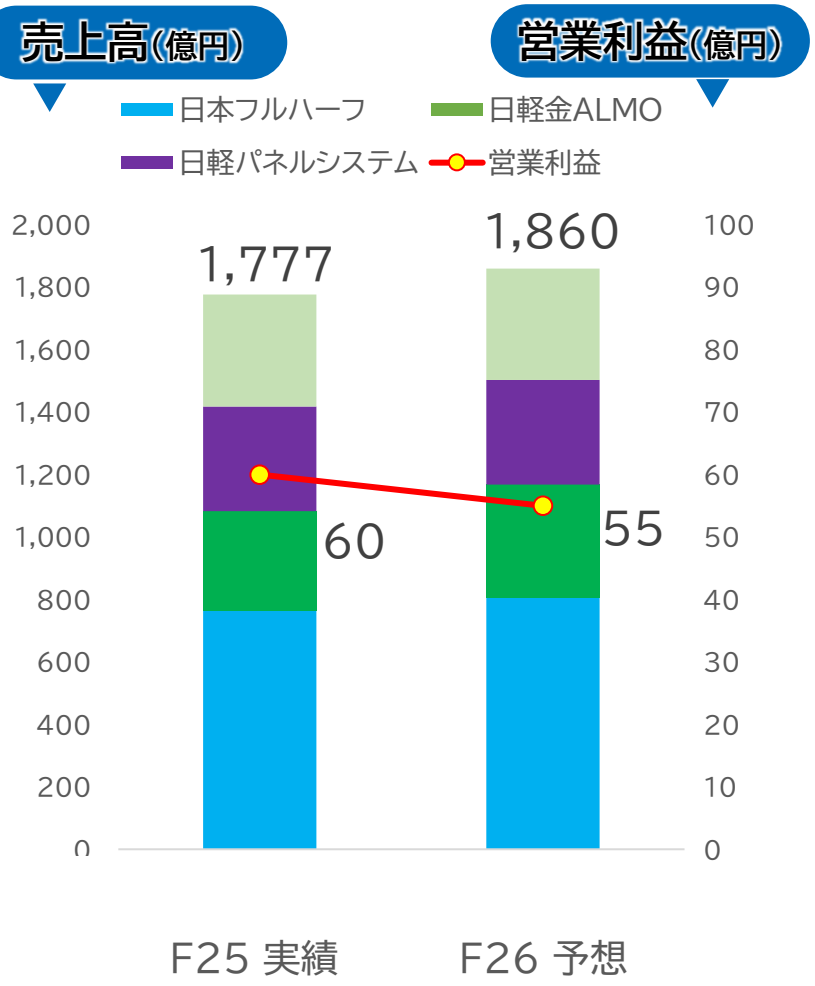


Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　通期業績予想

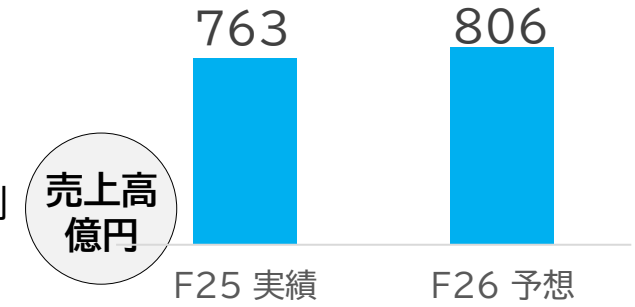
加工製品、関連事業

自動車部品は国内業績改善継続、輸送機器（トラック架装）は挽回生産・販価改定で前期並利益水準へ、エンジニアリングのパネルシステムはクリーンルーム向け回復は下期後半の見通し



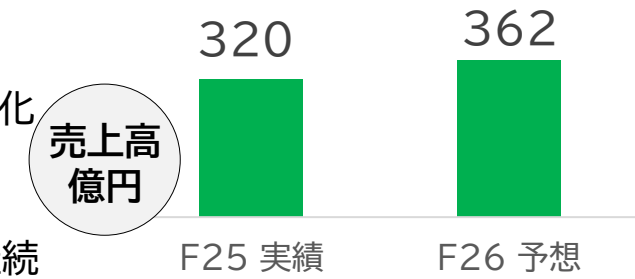
輸送機器事業グループ（日本フルハーフ）

- 市場環境良好で受注高水準継続。1Q減産・上期減益を下期挽回生産と販価改定による効果発現で前期並に利益水準へ近づける



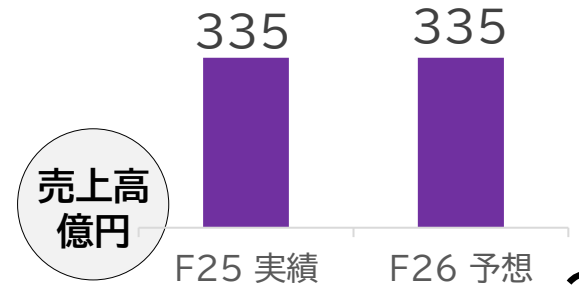
自動車部品事業グループ（日軽金ALMO）

- 日本：上期に続き新商品増加・品種構成改善・販価適正化による業績改善基調継続。
- 海外：中国低調、米国は生産性UPによる業績改善を継続



エンジニアリング事業グループ　パネルシステム部門（日軽パネルシステム）

- 冷凍・冷蔵：食品工場・冷凍冷蔵倉庫向けの増設や老朽化による建替え需要で販売堅調継続
- クリーンルーム：半導体関連の設備投資需要は継続、前期での大型物件の集中による反動減もあり、回復は下期後半になる見通し

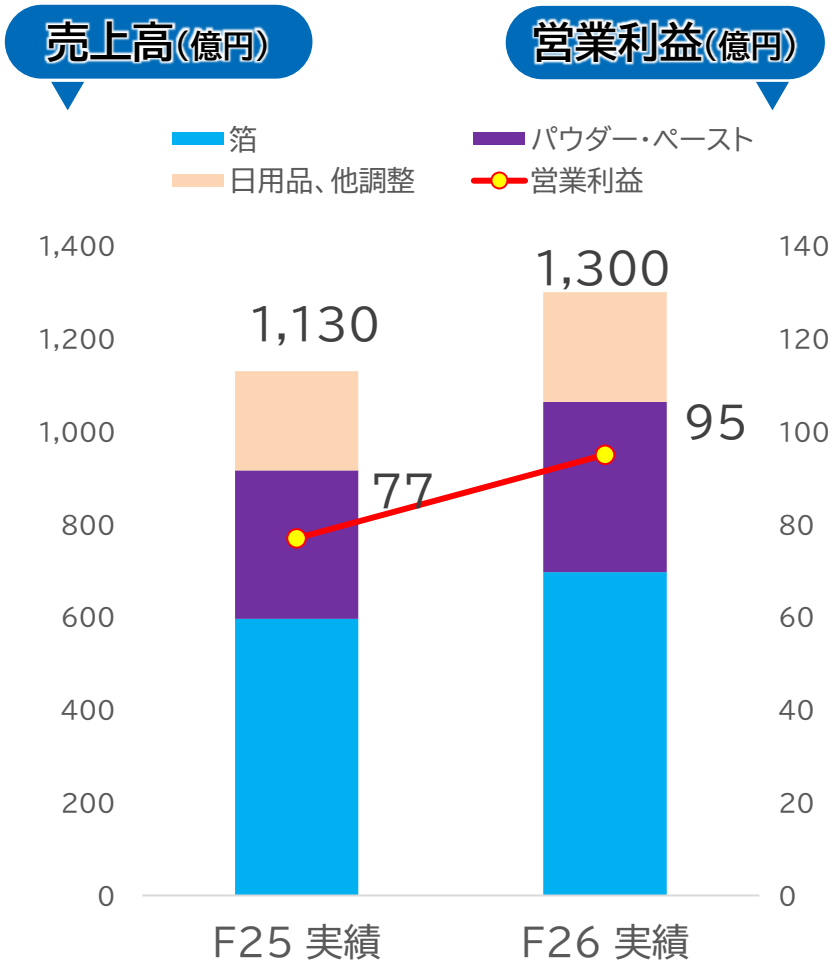


Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　通期業績予想

箔、粉末製品

箔は医薬包材向けの売上回復傾向、パウダー・ペーストは自動車塗料向けが下期緩和も　放熱用途は需要旺盛継続で、通期でも増収・増益に



箔事業グループ(東洋アルミニウム)
箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔は通期での調整局面継続で前期比減販も、医薬包材向け加工箔は国内・インドともに販売価格改定による原材料価格高騰分の吸収により、部門全体で増収に

パウダー・ペースト部門

- パウダーは放熱用途の電子材アルミパウダー・窒化アルミの需要好調でフル稼働継続、ペーストは自動車塗料用の需要増加が上期好調からの反動で緩和も、前年同期より売上高・利益ともに大きく伸長

日用品部門

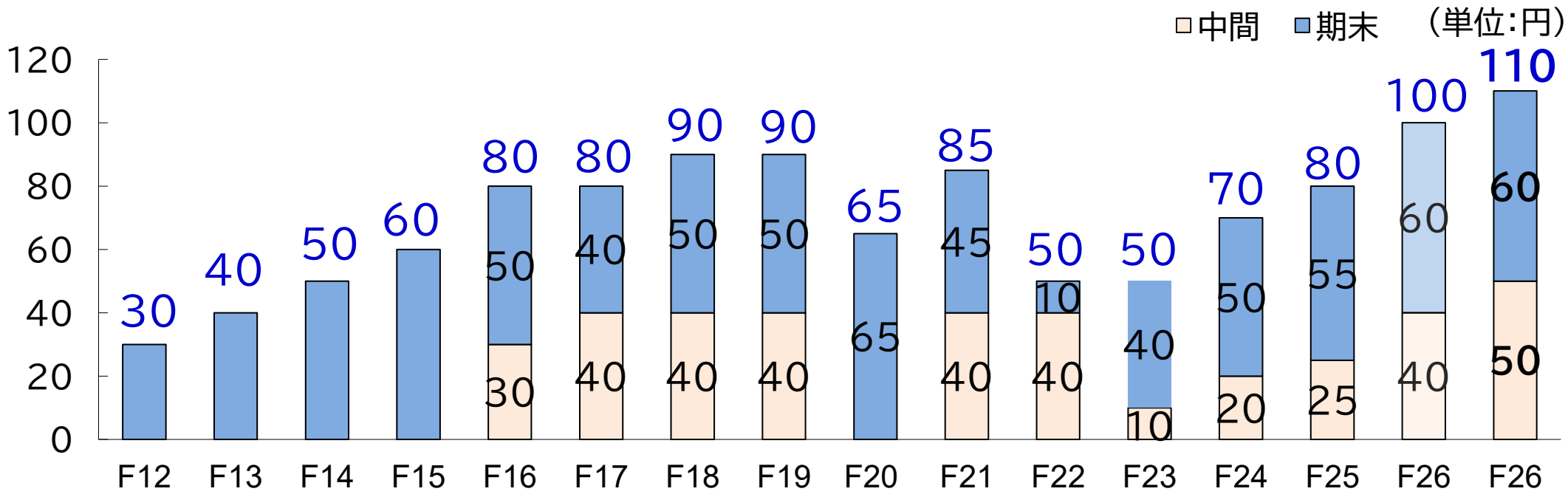
- コンシューマー向け、パッケージ向けともに物価高騰や店頭価格上昇による販売量減少有るも販売価格改定により、前期並みの利益確保を見込む

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

2026年度　通期業績予想

1株当たり配当金

- 株主還元方針　総還元性向40%程度（自己株式の取得を含む）
- 1株当たり配当金 110円　25年度比30円増配
  中間配当50円、期末配当60円
- 自己株式の取得を決定



当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、2019年度（2020年3月期）以前の1株当たり配当額については、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

26/6/15公表 アルミ押出事業の統合に関する基本合意について

株式会社神戸製鋼所と27年4月以降を目途に両社の国内アルミ押出事業の統合、及び具体的な条件検討を進める基本合意書を締結
➡ 26年11月末頃、最終契約締結を予定

本統合目的

・両社強みの融合で持続的な事業成長と企業価値向上
・両社強みの組合せで高付加価値製品を創出
・ロケーションを考慮したスクラップ回収最適化でリサイクル効率向上
・ロケーションスワップ活用で最適生産・物流体制構築

	当社	神戸製鋼所
押出製品販売先	輸送機器、社会インフラ、容器等幅広い分野	自動車部品を中心に鉄道車両や店売向け
強み	・優れた加工技術 ・多様な分野で培ってきた受注実績	・高度な合金開発力 ・幅広い供給体制を活かして自動車分野を牽引

本統合基本条件

下記を基本に、両社で誠実に協議の上決定

	当社	神戸製鋼所
対象範囲	・日軽金アクト全事業 ・日軽金アクト新潟工場・蒲原工場(静岡県)の生産品目に関する部門と押出事業関連部門	・長府製造所(山口県)のアルミ押出・ビレット鋳造・加工品に関する部門 ・国内アルミ押出事業関連営業部門
統合方法	共同持株会社の形態を想定	
統合期日予定	2027年4月以降	
統合後出資比率	当社が過半数の割合を占める基本方針	

https://www.nikkeikinholdings.co.jp/news/news/common/pdf/p2026061501hd.pdf

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

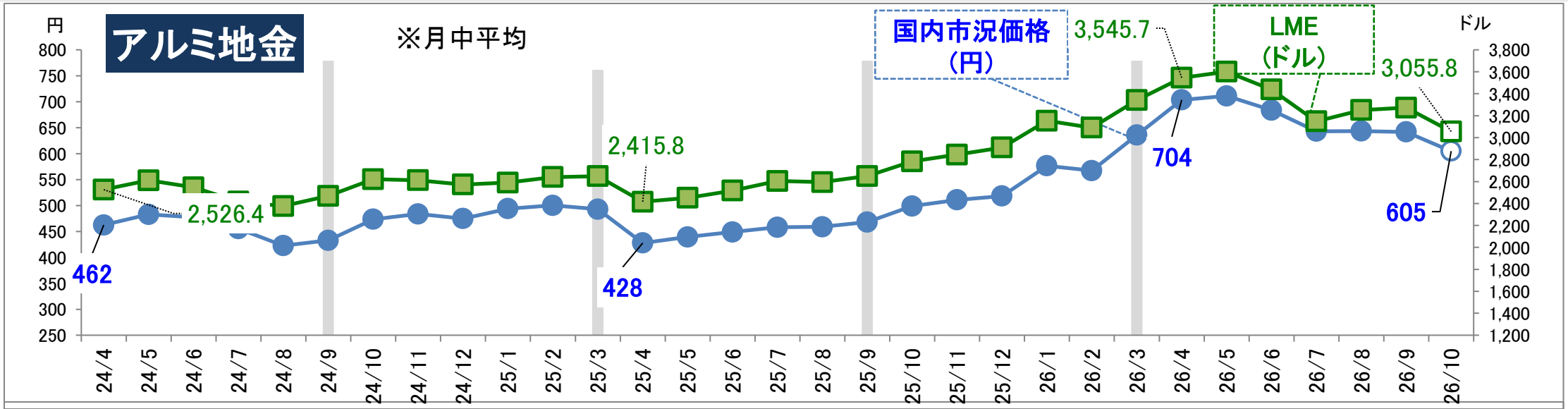
報告セグメントと事業グループを構成する部門

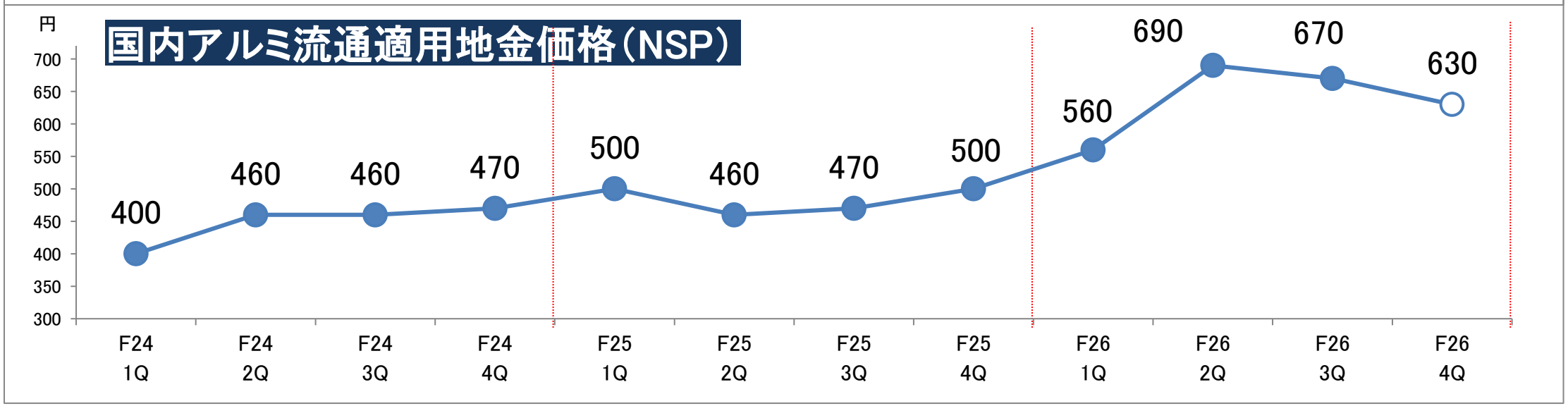
報告セグメント	事業グループ	主な部門・事業	主要事業会社・事業部門
アルミナ・化成品、地金	化成品	・化成品部門	－日軽金・化成品
		・炭素製品部門	－日本電極
	メタル	・二次合金部門	－日軽エムシーアルミ
		・電子材料部門	－日軽金・電極箔
板、押出製品	軽圧	・板部門	－日軽金・板
		・押出部門	－日軽金アクト
加工製品、関連事業	輸送機器	・トラック架装	－日本フルハーフ
	自動車部品		－日軽金ALMO
	エンジニアリング	・パネルシステム部門	－日軽パネルシステム
		・景観エンジニアリング部門	－日軽エンジニアリング
	（事業支援統括室）		－日軽金・蒲原、苫小牧 －日軽物流
箔、粉末製品	箔	・箔部門	－東洋アルミニウム
		・パウダー・ペースト部門	
		・日用品部門	

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

アルミ地金価格推移

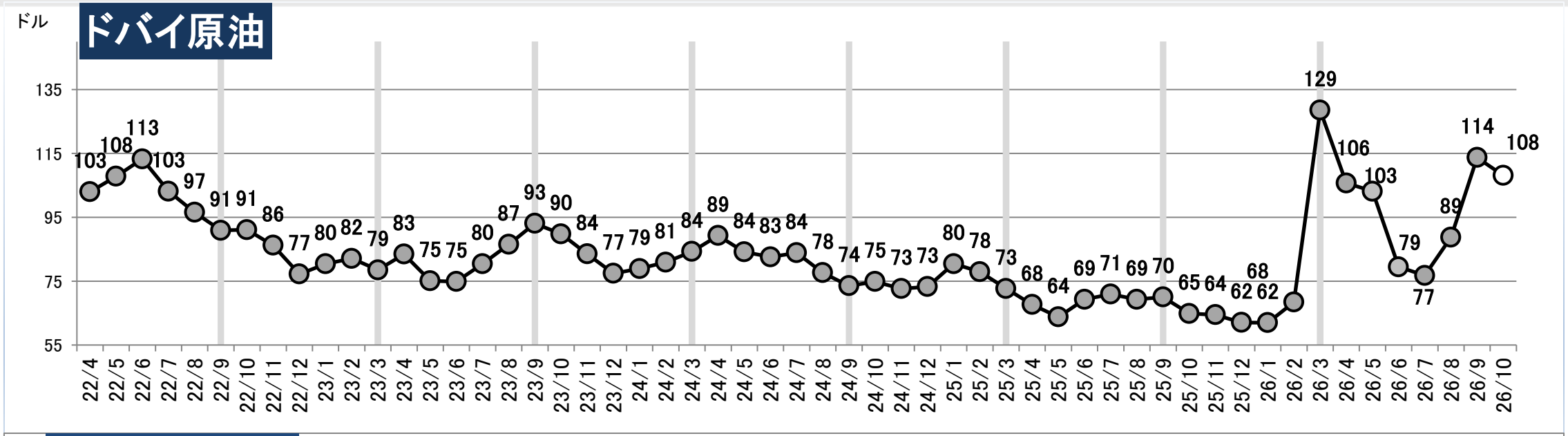


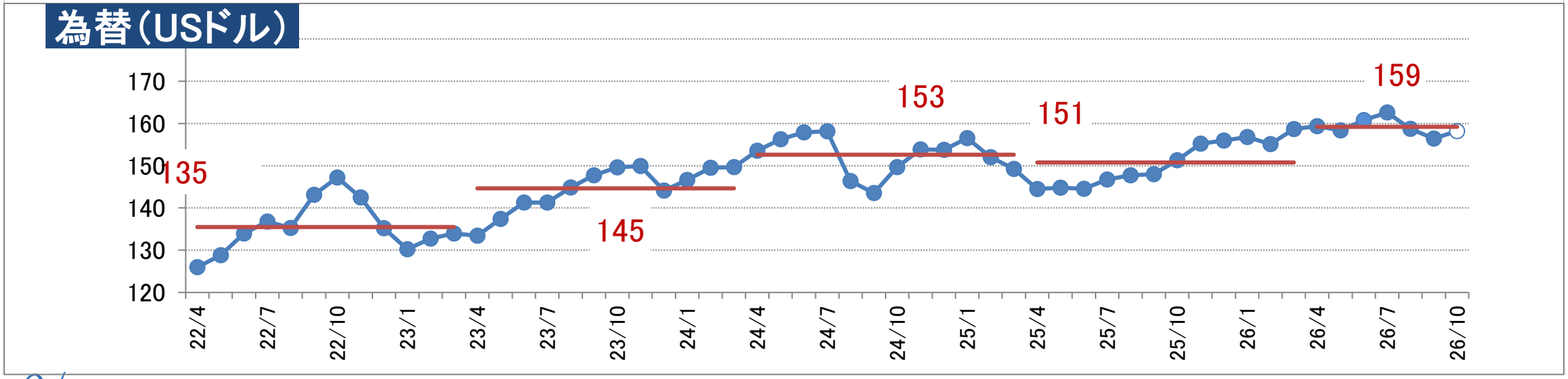


Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

原油価格・為替推移





Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

諸元と感応度

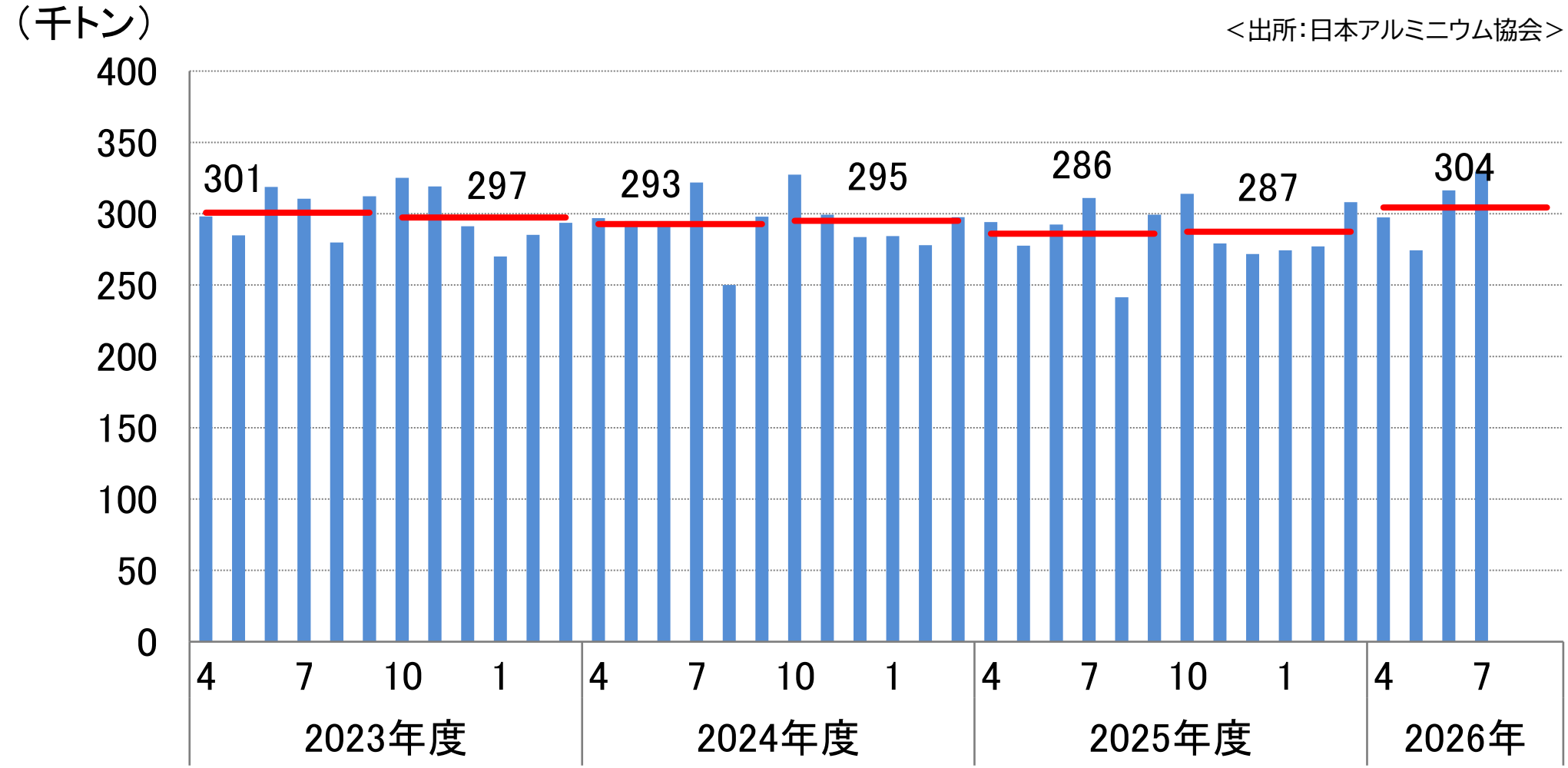
	2025年度 実績	2026年度 予想	26/4-9 実績	2026年度 予想見直し	経常利益への 感応度
アルミ地金 （円/kg）	501	689	671	639	10円/kg上昇した場合 △4億円/年
為替 （円/米ドル）	151	156	159	159	10円円高となった場合 ±0 営業利益＋7億円/年 営業外損益△7億円/年
ドバイ原油 （米ドル/BBL）	72	70*	95	101	10ドル/BBL上昇した場合 △8億円/年

＊26年度計画策定時の前提を記載

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移



Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

製品販売量

（千t）

	2025/4～9 実績	2026/4～9 実績	増減
日軽エムシーアルミ（二次合金）	132.8	152.8	+20.0
国内	60.9	70.6	+9.7
海外	71.9	82.2	+10.3
日軽金・板（板製品）	32.1	33.5	+1.4
日軽金アクト（押出製品）	14.2	14.5	+0.3

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

製品販売量

（千t）

	2025/ 実績	2026/ 予想	増減
日軽エムシーアルミ（二次合金）	272.8	309.9	+37.1
国内	129.0	143.4	+14.4
海外	143.8	166.5	+22.7
日軽金・板（板製品）	66.4	69.2	+2.8
日軽金アクト（押出製品）	30.1	29.6	△0.5

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

主要会社の業績

（億円）

	2025/4～9 実績			2026/4～9 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	801	31	76	946	73	113
東洋アルミニウム(連結)	557	37	36	635	54	51
日軽エムシーアルミ(連結)	541	15	16	897	64	65
日本フルハーフ(連結)	370	11	10	370	0	△2
日軽金アクト(連結)	179	1	1	202	12	11
日軽パネルシステム(連結)	153	13	14	155	9	10
日軽金ALMO	150	△2	△3	173	9	7

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

補足資料

主要会社の業績

（億円）

	2025年度 実績			2026年度 予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	1,636	42	86	1,975	99	136
東洋アルミニウム(連結)	1,134	77	74	1,293	95	90
日軽エムシーアルミ(連結)	1,170	32	36	1,682	87	89
日本フルハーフ(連結)	763	20	20	806	17	15
日軽金アクト(連結)	369	15	15	411	20	19
日軽パネルシステム(連結)	335	34	37	335	22	24
日軽金ALMO	320	0	△2	362	9	1

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.

本資料についての注意事項

1．本資料は業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2．本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3．本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4．本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co.,Ltd All rights Reserved.